

令和4年度熊本県地域の人づくり講座(第1回)[八代教室]を開催しました！

10月18日(火)午後14時30分から、八代市公民館において、地域コーディネーター、教職員、社会教育委員、地域学校協働活動に関心のある八代市民等に参加いただき、「地域学校協働活動事例発表会～学校を核とした地域づくりのために～」と題して熊本県地域の人づくり講座（第1回）を開催しました。

今回の講座では、地域学校協働活動の先進地域である天草市教育委員会の向博俊統括コーディネーターの講演、その後、本市の地域学校協働活動における事例を3名の地域コーディネーターに発表していただきました。

講演

天草市は令和2年度には市内すべての小中学校に地域コーディネーターを配置され、本年度は県のモデル地域に指定されています。講演では生涯学習課職員2名、地域コーディネーター2名も加わり、豊富な資料と工夫された発表、チームワークの良さにこの事業への熱い思いを感じました。持続可能性を高める組織の仕組みや動画等を活用した情報発信、そして各学校の地域性を生かした活動事例はとても参考になりました。



事例発表 1

蒲生正人氏：代陽小学校担当  
・3つの成果  
①児童の社会性の向上  
②児童の自己肯定感の向上  
③支援者の「やりがい」「自己有用感」「学校に対する理解」の高まり  
・成果を生むための留意点  
・交流を通じて居場所づくりをめざす放課後学習会の取組



事例発表 2

今田史昭氏：松高小学校・八代支援学校担当  
・各学校との打ち合わせや支援の協力要請の対応  
・各学年、各学部及びその他の特色ある活動事例  
・地域学校協働活動に関わってのやりがい、成果と課題  
・地域コーディネーター通信の発行



事例発表 3

松岡昭広氏：鏡中学校担当  
・鏡中の地域未来塾の目標（別室登校生徒の学習支援や居場所づくり）  
・実施状況（学習支援員2名でそれぞれ週1回2時間程度活動）  
・関わった生徒の事例を通して、安心して学習できる居場所の必要性や支援者としての「やりがい」



《参加者のアンケートより》

- ・天草の協働活動の事例を聞いて、地域の方と関わりながら、子どもたちのコミュニケーション能力や自己肯定感を高められること、地域の方々と一体となって学校を盛りたてていく素晴らしい取組を知ることができた。
- ・天草市、八代市が自治体全体で活動の推進を図っておられることがよくわかりました。心強いです。
- ・教育行政の支援・サービス・浸透等がなければ、働き方改革が叫ばれている昨今において、教師の負担感への不安がなかなかぬぐい去れない状況もあると感じています。
- ・多岐にわたり、多くの示唆を与えていただきました。コロナも落ち着きつつあるので、少しずつ活動を推進し、子どもたち、地域のために頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。

## 活動紹介 《様々な学校協力活動》

with コロナでスタートした本年度も第7波の襲来でなかなか軌道に乗れない中、それでも各学校、関係者の努力とアイデアで今できることを実践していただいています。今回は10月24日(月)に地域コーディネーターを中心に企画された文政小学校の「ワクワクキャリアセミナー」の様子を紹介します。



開会式で各講師が自己紹介

8つのブース(職業別)に分かれて説明を聞き、たくさんの質問が飛び交いました！

## 「地域学校協働活動」のよさはわかっているが・・・

余裕がなく、地域コーディネーターとの打ち合わせの時間が十分にとれない。⇒担当だけでなくチーム機能を生かして！

地域連携担当教員の負担が大きく、担当以外との温度差を感じる。⇒全職員での研修・共通理解の場を！

目標よりも活動ありきになってしまう場合がある。⇒年度初め、目標・ビジョンの共有！  
 ・地域でどんな子供を育てたいのか？  
 ・どんな資質・能力を育てたいのか？



本事業が地域住民に十分浸透していないため、地域人材が集まらない。⇒活動の予定や人材の募集、活動成果を地域へ発信！

学校の思いや子どもたちの思い、ニーズが伝わってこない。⇒目標、年間活動計画の共有、互いを知る場や環境の整備！

他にもこんな声が（協働本部で努力します！）  
 ・他校での活用方法をもっと知りたい  
 ・申請や報告の事務作業が面倒  
 ・予算をもっと自由に使えたら・・・

### まずはここから！

これまで、学校訪問や意見交換会等で成果とともにいろいろな課題も聞かせていただきました。協働本部としても、「地域学校協働活動」の充実のためにさらに努力していきたく思います。

下の表は学校と地域との「連携・協働活動状況の確認」チェックシートです。それぞれの学校においても、まずは状況を確認し、できるところから少しずつ次のアクションにつなげていただければ有難いです。また、学校訪問でお話したように、地域コーディネーターの動きやすい環境づくりも重ねてお願いします。

『学校と地域との連携・協働状況の確認』チェックシート	×△○◎
①地域と学校がともにビジョンやめざす子ども像を共有する熟議等を行っている。	
②地域連携・協働活動に関する年間計画が作成されている。	
③教員の連携活動のニーズを地域連携教員が把握している。	
④教職員が地域連携や協働活動の意義を共有する場がある。（研修や職員会議等）	
⑤地域コーディネーターとの話し合いや情報共有がなされている。	
⑥ボランティアルームの設置や教職員への周知など、ボランティアの活動環境が整っている。	
⑦活動が子どもたちにとって、体験にとどまらず、ねらいに沿った教育活動になっている。	
⑧ボランティア募集や子供たちの教育活動、ボランティア活動の状況などが地域に情報発信している。	
⑨活動継続のために、振り返りや情報の蓄積を行うなどチーム体制作りが行われている。	
⑩活動の記録を取りまとめ、次年度の年間計画の見直しに生かしている。	